

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

瀬戸内市にある岡山県水産研究所の展示施設がリニューアルオープンしました。記事を読み質問に答えましょう。

てい がく ねん
**低学年も
チャレンジ!**

Q1
施設は「うみの学び舎」をコンセプトに、内容を充実しました。施設にどんな展示があれば楽しくなるかな。自由にアイデアを出してみよう。

Q2
展示では、瀬戸内海に生息する多様な魚も紹介しています。海に流れ込む岡山の三大河川の名前は何ですか。記事から探して、三つ全てを答えよう。

イラスト、図解多用 地域漁業分かりやすく 岡山県水産研「おさかな学習室」刷新



リニューアルした「おさかな学習室」。イラストや図解を多用し漁業を分かりやすく紹介している

岡山県水産研究所（瀬戸内市牛窓町鹿忍）の展示施設「おさかな学習室」がリニューアルオープンした。「うみの学び舎」をコンセプトに展示内容を充実させ、地域の漁業をより分かりやすく伝える施設に生まれ変わった。

学習室は種苗生産棟1階の一角にあり、約120平方メートル。「岡山の海」「岡山の魚」「育てる漁業」「さまざまな漁法」「研究紹介」の5ゾーンに分け、イラストや図解を多用し、順路に従って物語を読み進めるような展示に刷新した。

具体的には、三大河川（吉井川、旭川、高梁川）が流

れ込む海の豊かさに始まり、生息する多種多様な魚たち▽波穏やかな海の特徴を生かしたノリやカキの養殖▽備前市日生町地区が発祥とも伝わる小型定置網「つぼ網」といった伝統的な漁法―などと続く。

また、瀬戸内海にすむ小型イルカ・スナメリの実物大パネルや、研究所近くの海で捕れた魚介類を展示する水槽を設置したり、切り身から魚の種類を当てるゲームコーナーを用意したりと、子どもたちが楽しめる要素を多く取り入れた。

事業費は2千万円。研究所は「県産水産物のファンが増えるよう知恵を絞った。学習室を活用したイベントも充実させたい」としている。見学は予約が必要で、土、日曜、祝日と年末年始は休館。無料。問い合わせは研究所（0869-3074）。（大河原三恵）

Q3
学習室には、瀬戸内海にすむ小型イルカの実物大パネルも置かれています。パネルになったイルカの名前は何ですか。次の三つから正しいもの一つ選ぼう。

- ①ナミイルカ
- ②シャチ
- ③スナメリ

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。